ソフトウエア版 瞬間環境復元ツール

ドライブシールド

DriveShield

CDS-NCLM

ネットワークコントロール／ライセンスマネージャー

サーバープログラム

インストール／操作ガイド

Ver.2.1.8J

Jun. 2002

株式会社アイ･ディ･ケイ

目 次

■ 始めに（必ずお読みください） 1
■ 第 1 章 構成イメージ 3
1-1 最もシンプルな構成例 3
1-2 グループ別けの構成例 4
■ 第 2 章 インストールの流れ 6
2-1 順序 6
2-2 全体的な流れ 6
■ 第 3 章 サーバープログラムのインストール方法 7
■ 第 4 章 操作方法（ネットワークコントロール機能について） 9
4-1 サーバープログラムの起動 9
4-2 サーバープログラムの画面説明 10
4-3 サーバープログラムの操作方法 13
■ 第 5 章 認証手続きの方法（ライセンスマネージャー機能について） 21
5-1 認証を行う前の確認事項 21
5-2 認証の手順（サーバーでのライセンス取得） 21
5-3 認証の手順（クライアントへのライセンス配信） 24
5-4 ライセンス情報のバックアップ 24
■ 第 6 章 アンインストール方法 25
■ 第 7 章 ユーザーサポートについて 26

■ 始めに（必ずお読みください）

※ 本製品はドライブシールド［ネットワークコントロール／ライセンスマネージャー］版の［サーバープログラム］です。 本製品単体では使用出来ません。 別途クライアントプログラムが必要となります。

※ 本ガイドは、［サーバープログラム］のインストール、操作に関する内容のみが書かれております。 ドライブシールドに関する全般的な内容や、[クライアントプログラム]の内容については、別途ご用意している、[クライアント・インストール／操作ガイド]をご参照いただけますようお願い致します。

※ 本プログラムは英語版ですが、本ガイドにて、各メッセージの対訳を行っておりますので、英語の苦手な方でも安心してご利用いただけます。 今後のバージョンアップにて日本語化される予定です。
（現在、クライアントプログラムは日本語化されております）

［ネットワークコントロール／ライセンスマネージャー］とは？

コンピュータ教室等にて、複数台のコンピュータにドライブシールドをインストールして使用する場合、プロテクトのロック、解除の操作を一台一台行うのは、非常に大変な作業となります。
また、ドライブシールドをご使用いただくには、インストール後、認証手続きが必要となりますので、この作業についても同様の事が言えます。

［ネットワークコントロール／ライセンスマネージャー］は、これらの作業を、サーバープログラムをインストールした１台のコンピュータから、クライアントプログラムをインストールした複数台のコンピュータに対し、一括で行う事が出来るので大変便利です。

● 本製品の内容

・ インストール用 CD-ROM（サーバープログラム）

※ クライアントプログラムは、別製品となります（有償）

（本製品はドライブシールドの **［ネットワークコントロール／ライセンスマネージャー］** 機能をご利用いただく為のサーバープログラムです。 別途 **クライアントプログラム** が必要となります。

● ドライブシールドについて

ドライブシールドに関する全般的な内容や詳細については、別途ご用意している、**[クライアントプログラム インストール／操作 ガイド]** をご参照いただけますようお願い致します。

● 動作条件・必要条件

（サーバープログラム の動作条件）

- **コンピュータ：** PC/AT 互換機（ノート PC でも利用可）
- **OS：** Windows 98、Me、NT4.0、Windows 2000、 WindowsXP（Windows 95 は不可）
- **ネットワークプロトコル：** TCP/IP
- **ハードディスク：** 10MB 以上程度の空きが必要です。
- **コントロール可能なクライアント数：** 1,000 台まで（将来拡張予定）
- **サーバープログラムによる一括認証を行う場合：** ライセンス情報を取得する際に、インターネットへの接続が必要です（ポート TCP 443 番を使用します）また、インターネットエクスプローラの 4.01 以上がインストールされている必要があります。（ライセンス情報を取得後は、インターネットの接続は必要ありません）

（LAN の必要条件）

- **プロトコル：** TCP/IP
- **ポート：** TCP 25010 ～ 25792 から任意の番号を選択出来ます（デフォルトは 25555）

（インターネット接続の必要条件）

- **プロトコル：** TCP/IP
- **ポート：** TCP 443 (SSL)

（このインターネット接続の条件は、サーバープログラムが、最初にインターネット上の弊社のサーバーから認証情報を取得する際のみ必要です。常時必要ではありません）

● ご注意

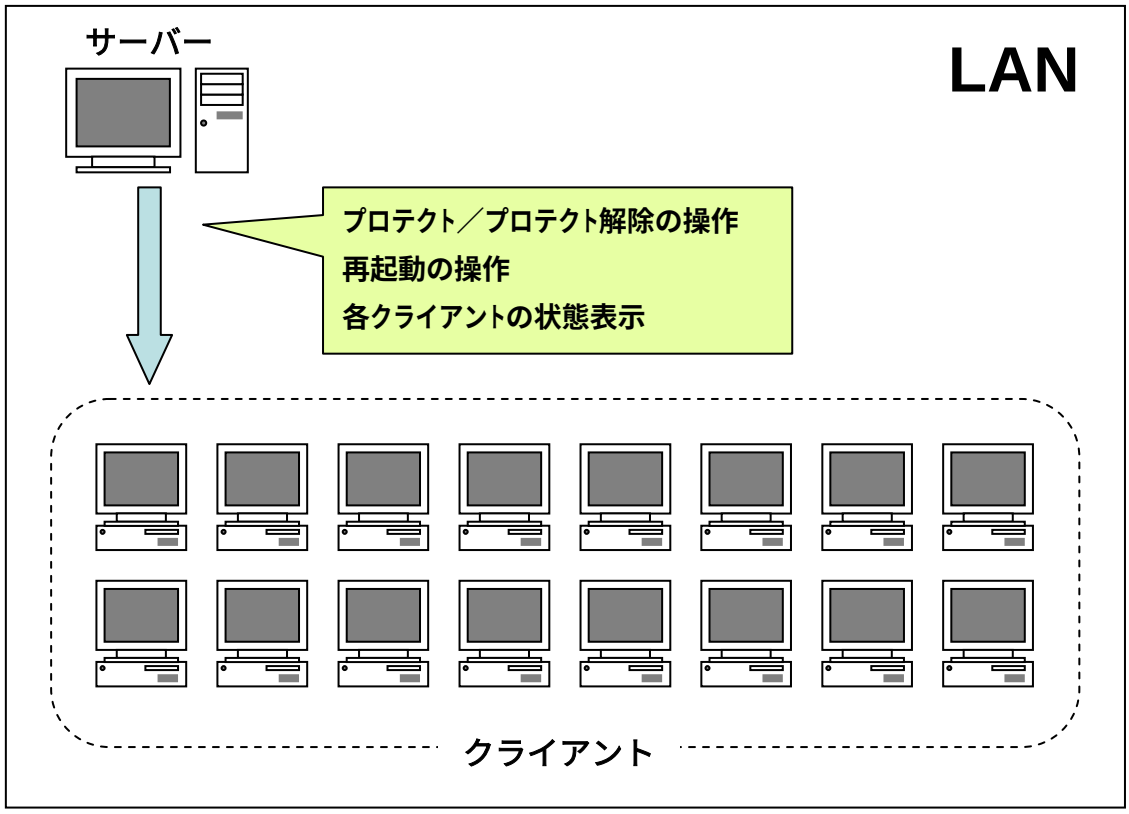
- 本プログラムは入念な動作テストをした上、十分に安全性を確認していますが、万が一の場合に備え、本製品をインストールする前にハードディスク内の重要なデータはバックアップを取っていただく事をおすすめいたします。 万が一問題がおきましても弊社では一切の責任を負いかねます事ご理解いただけますようお願い致します。

■ 第 1 章 構成イメージ

[ネットワークコントロール／ライセンスマネージャー] を使用する際の実際の構成イメージをご案内致します。

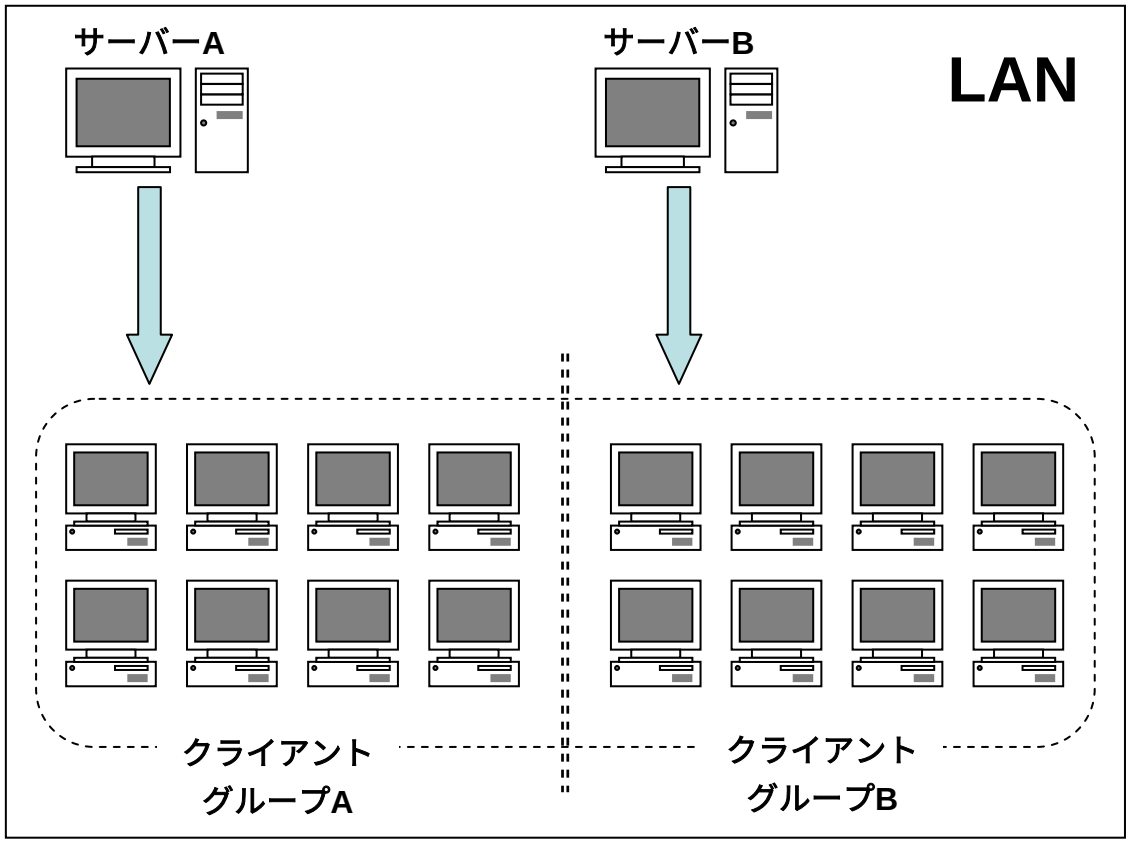
1-1 最もシンプルな構成例

下図のように、ドライブシールド・クライアントプログラムをインストールした複数台のクライアントコンピュータに対し、**[プロテクト／プロテクト解除の操作]** **[再起動の操作]** が可能です。また、 **[各クライアントの状態表示]** も可能です。



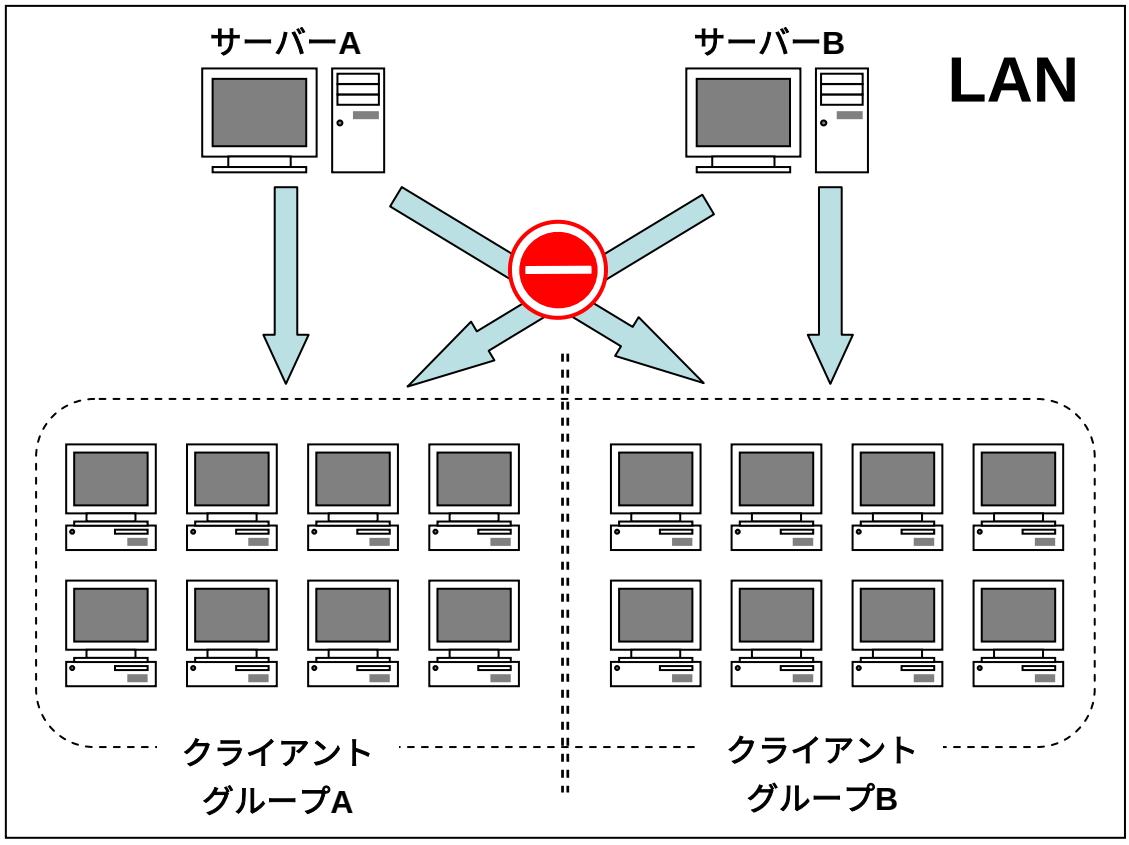
1-2 グループ別けの構成例

クライアントをグループ分けし、それぞれのグループのクライアントコンピュータを、別々のサーバーで制御する事も出来ます。



※ 但し、一台のクライアントに対し、複数のサーバープログラムからコントロールする事は出来ません。 次の構成をご参照ください。

※ 1 台のクライアントを、複数台のサーバープログラムからコントロールする事は出来ません。



■ 第 2 章 インストールの流れ

2-1 順序

クライアント、サーバープログラムのどちらを先にインストールしても構いませんが、最初にサーバープログラムをインストールしておいて、その後クライアントをインストールしていく順序の方が、サーバープログラムの画面を見ながら、クライアントが正常にインストールされているかどうか確認できるので、確実で効率的な作業が行えると思います。

2-2 全体的な流れ

① ドライブシールド サーバープログラム、クライアントプログラムをそれぞれインストールする。

⇩

② クライアントはこの時点で 30 日の試用版として使用出来ます。

⇩

③ サーバープログラムにて、インターネット経由でライセンス情報を取得する。

⇩

④ サーバープログラムから、LAN 経由で、各クライアントにライセンス情報を配信する。

⇩

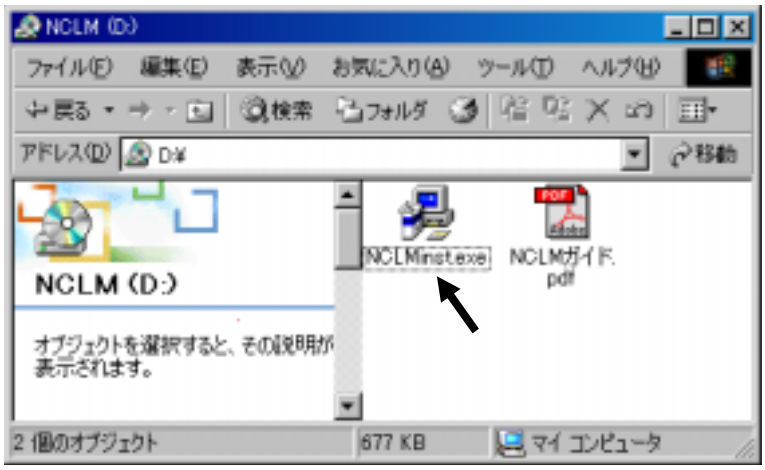
⑤ 認証を完了すると、クライアントプログラムは 30 日間の試用制限が解除され、正式版として使用出来るようになります。

■ 第 3 章 サーバープログラムのインストール方法

※ インストールは短時間で完了します。

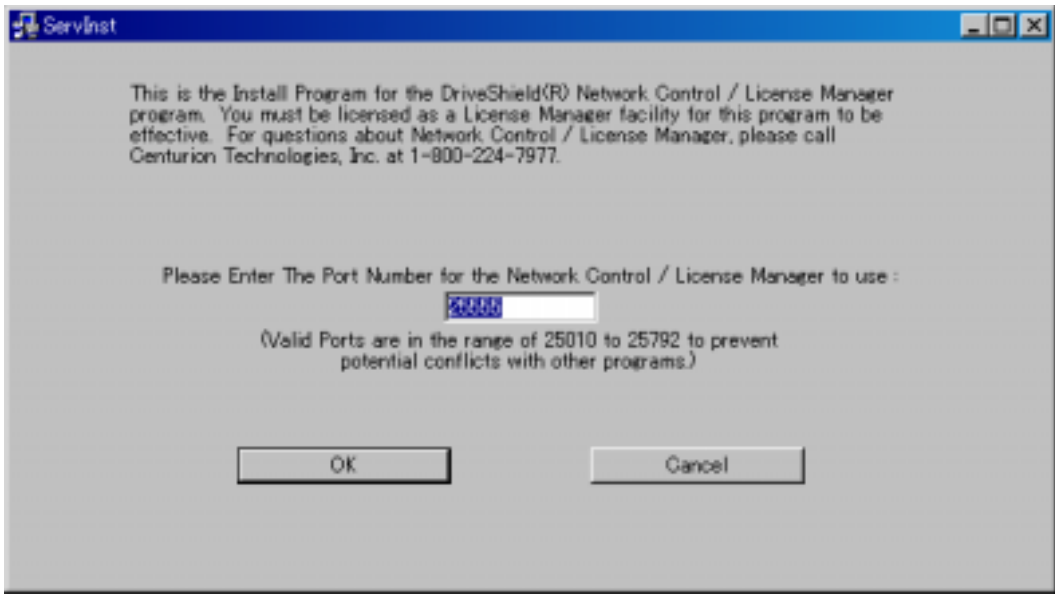
(1) NT4.0、2000、XP コンピュータにインストールする場合は、Administrator 権限でログオンしてください。また、作業中の未保存のデータがあれば予め保存しておいてください。（このサーバープログラムは、Windows98, Me, NT4.0 、2000、XP でのみ使用出来ます。 **Windows95 では使用出来ません**）

(2) CD-ROM の中の、**NCLMinst.exe**（コンピュータの表示設定によっては、**NCLMinst.**と表示される場合もあります）をダブルクリックします。



(3) 下記のタイトルロゴが現れます。

(4) 次に下の画面が表示されますので、下記の欄に TCP のポート番号を入力します。なお、通常はデフォルト（25555）のままで結構です。変更する場合は、25010 ～ 25792 の範囲で可能です。
その後、OK ボタンをクリックします。
※ ネットワーク内での適切なポート番号の選択については、ネットワークの管理者にご相談ください。



(5) 下記のウインドウが表示されたら、インストール成功です。

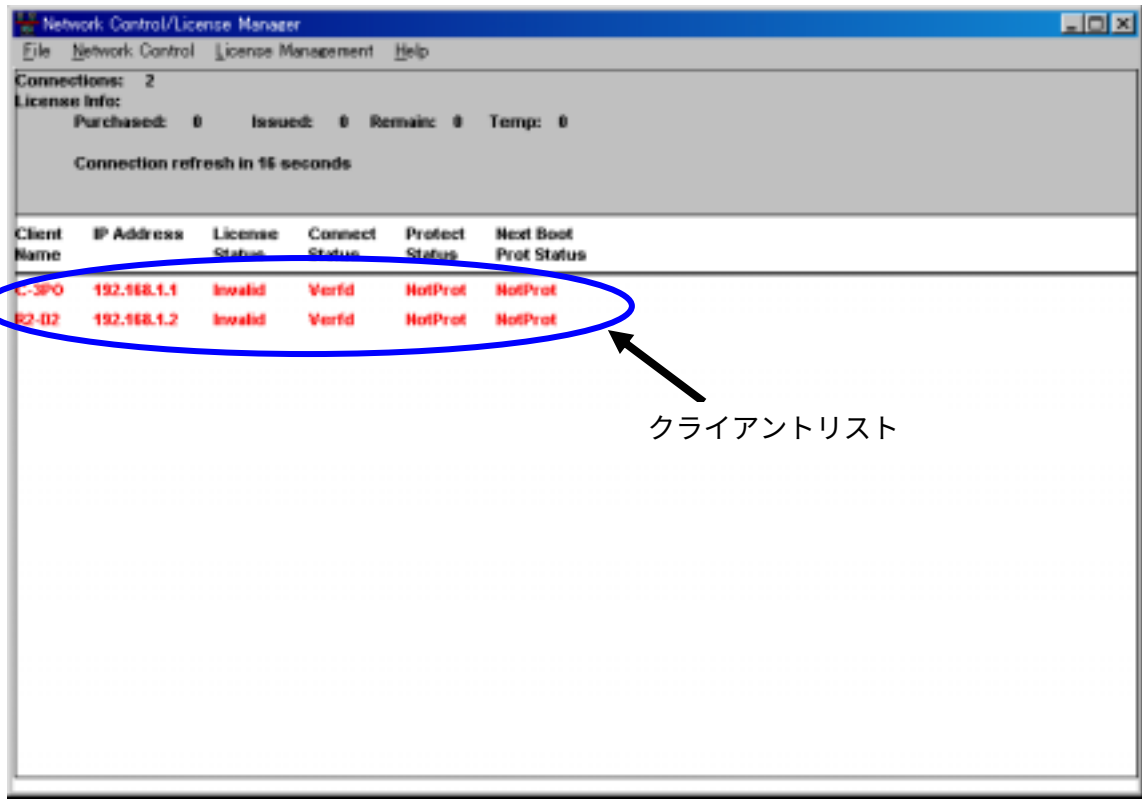
インストール終了後、デスクトップに以下のアイコンが表示されます。また、**スタート**ボタン → **プログラム** → [Centurion Technologies] の中に [Site License and Network Control] というアイコンが登録されます。

■ 第 4 章 操作方法 （ネットワークコントロール機能について）

4 - 1 サーバープログラムの起動

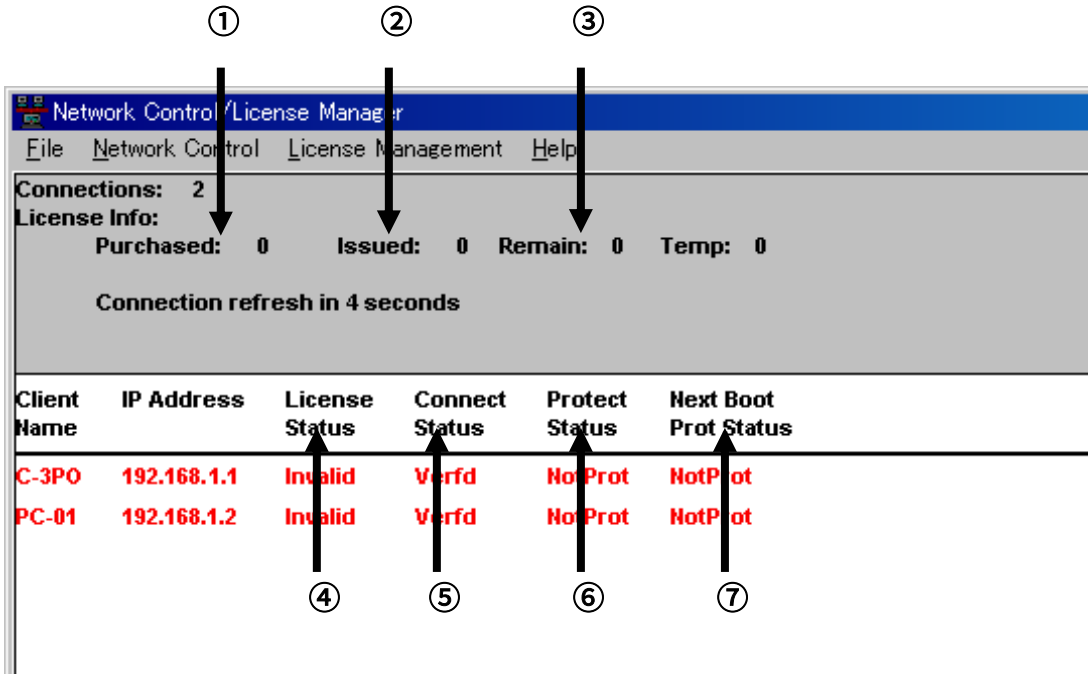
(1) デスクトップ上の下のアイコンをダブルクリックするか、**スタート**ボタン → プログラム → [Centurion Technologies] → [Site License and Network Control] を選択します。

(2) 次の画面が現れます。これが、サーバープログラム画面です。丸印で囲まれた部分は、ネットワーク上で、ドライブシールドがインストールされたクライアントコンピュータです。この表示を**クライアントリスト**と呼びます。 クライアントリストでは、各クライアントコンピュータの状態が表示されます。詳細は次のページからご説明致します。



4-2 サーバープログラムの画面説明

(1) サーバープログラム画面の各表示の説明です。

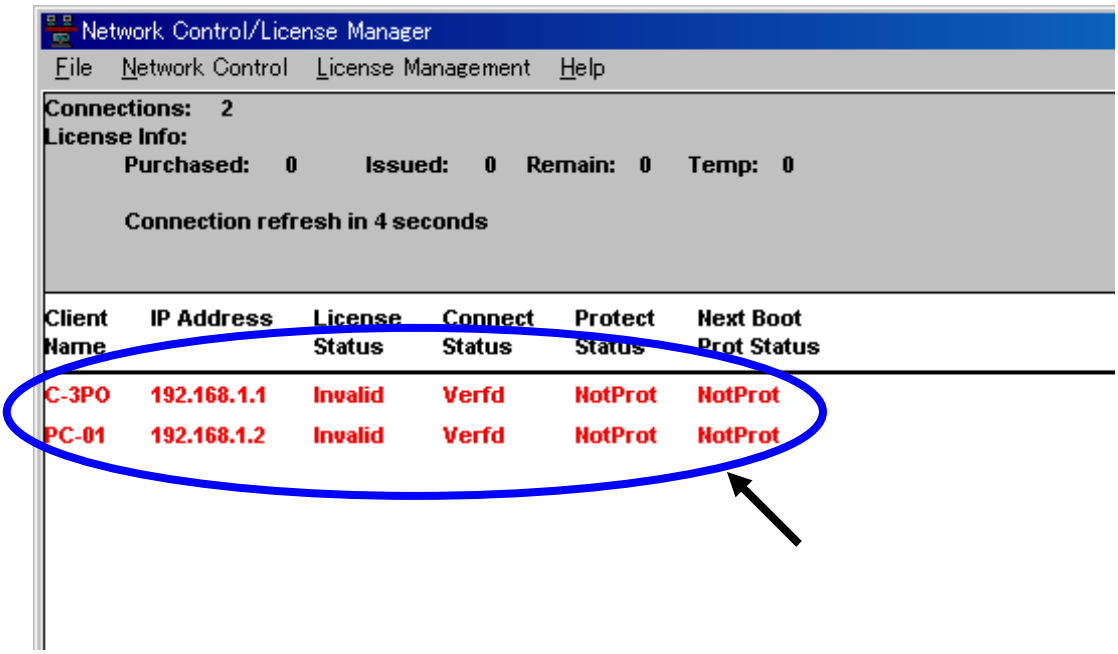


表示内容	意味
① **Purchased** 購入ライセンス数	このサーバーが所有している購入ライセンス数です。
② **Issued** 配信済	既にクライアントコンピュータに配信したライセンス数です。
③ **Remain** 残り	まだ配信していないライセンス数です。
④ **License Status** ライセンスの状態	クライアントコンピュータのライセンス状況を表示します。
Site licensed 認証済	クライアントコンピュータは、ライセンスマネージャーにより、認証を済ませた状態です。
Local license 個別認証済	クライアントコンピュータは、個別に認証を済ませた状態です。
Issued 送信済	クライアントコンピュータから要求を受け、認証情報を配信した状態です。
ReIssued 再送信済	クライアントコンピュータは既に認証済みですが、再度認証要求があった状態です。
Temp 一時	ライセンスマネージャーから一時ライセンスが配信された状態です。

	Denied 拒否	クライアントコンピュータは認証の要求をしましたが、ライセンスマネージャーは、これ以上のライセンスを持っていない状態です。
	Trial 試用期間	ドライブシールドは試用期間の状態です。 認証の要求はしていません。
	Stand By 確認中	確認中です。 少々お待ちください。
	Invalid 無効	エラーです。 テクニカルサポートにご連絡ください。
⑤ Connect Status 接続の状態		クライアントコンピュータとサーバーの接続の状態を示します。
	V pend 接続確認中	接続確認中です。
	Verfd 接続完了	接続が完了しました。
⑥ Protect Status プロテクトの状態		現在のクライアントコンピュータの、プロテクトの状態を示します（プロテクトモードか、プロテクト解除モードか）
	Protect プロテクト	現在プロテクトモードです。
	NotProt 解除	現在プロテクト解除モードです。
	Unknown 不明	何らかの理由により、現在の状態が取得出来ません。
⑦ Next Boot Prot Status 次回起動時のプロテクトの状態		次回起動する時のプロテクトの状態を示します（プロテクトモードか、プロテクト解除モードか）
	Protect プロテクト	次回起動時は、プロテクトモードになります。
	NotProt 解除	次回起動時は、プロテクト解除モードになります。
	Unknown 不明	何らかの理由により、次回の状態が取得出来ません。

(2) クライアントリストについて

下図の丸で囲まれた部分は、**クライアントリスト**と呼びます。 各クライアントコンピュータの情報が表示されます。 これらは、その時の状態により、表示色が変化します。



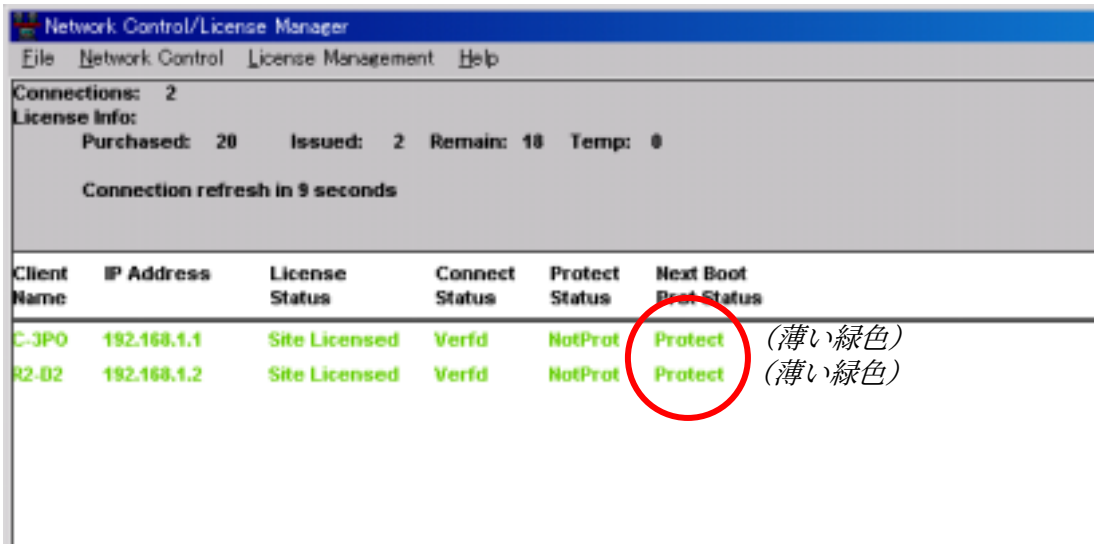
下の表で、クライアントリストのそれぞれの色の説明を致します。

Protect Status プロテクトの状態	Next Boot Prot Status 次回起動時のプロテクトの状態	Color 表示色
NotProt 解除	***NotProt*** 解除	赤
NotProt 解除	***Protect*** プロテクト	薄い緑
Protect プロテクト	***Protect*** プロテクト	緑
Protect プロテクト	***NotProt*** 解除	薄い赤

4-3 サーバープログラムの操作方法

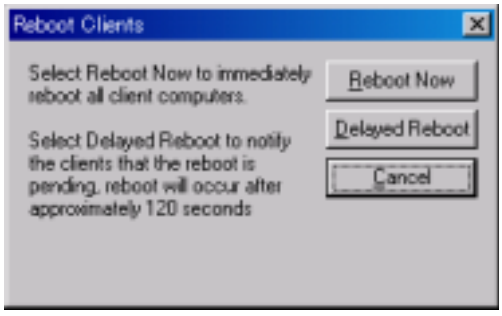
(1) 全ての PC をプロテクトモードにする場合

[Network Control]（ネットワークコントロール） メニューから → [Enable Protection on All Systems]（全てのクライアントをプロテクトモードに） を選択します。
その際、Next Boot Protect Status （次回起動時のプロテクトの状態） が、Protect （プロテクト） の表示に変わり、クライアントリストの表示が**薄い緑色**に変化します。

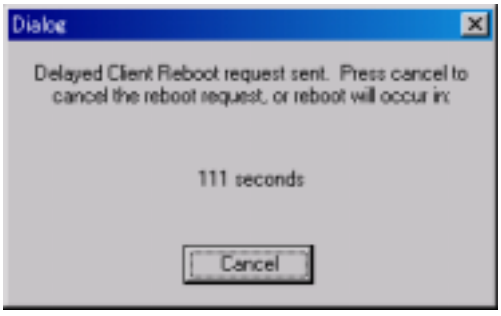


その後、Reboot All Clients（全てのクライアントを再起動）を選択し、更に Reboot Now（直ぐに再起動） をクリックします。 もし、ここで、Delayed Reboot （遅延再起動） を選択した場合、120 秒後に再起動します。 その際、対象のクライアントコンピュータの画面上に、「管理者が強制的に再起動を行います」というメッセージが通知されます。ここで、Delayed Reboot （遅延再起動） を押した後、Cancel （キャンセル） ボタンをクリックすると再起動は中止され、対象のクライアントコンピュータには「管理者は再起動を中止しました」というメッセージが表示されます。

Reboot Now（今すぐ再起動する）の画面


Reboot Clients
Select Reboot Now to immediately reboot all client computers.
Reboot Now
Select Delayed Reboot to notify the clients that the reboot is pending, reboot will occur after approximately 120 seconds
Delayed Reboot
Cancel

Delayed Reboot（遅延再起動）の画面

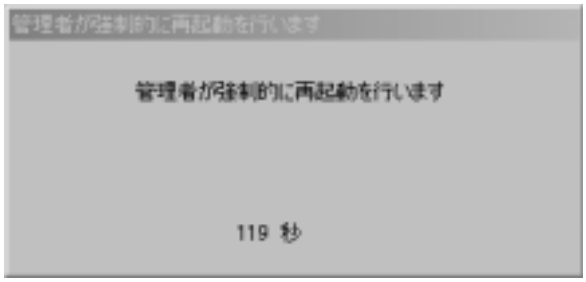

Dialog
Delayed Client Reboot request sent. Press cancel to cancel the reboot request, or reboot will occur in:
111 seconds
Cancel

全ての クライアント PC が再起動され、再起動後、プロテクトモードで起動します。

プロテクトモードで起動したクライアント PC は、サーバープログラム画面上に、**Protect Status （プロテクトの状態）** が **Protect （プロテクト）** と表示されます。クライアントリストが**緑色**に変化します。

Delayed Reboot （遅延再起動）を実行した場合・・・

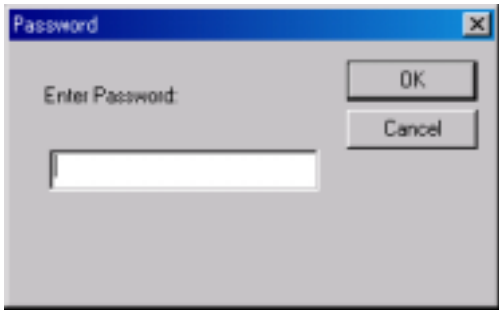
Delayed Reboot （遅延再起動）を実行した場合、対象のクライアントコンピュータの画面上には、下記のメッセージが表示され、再起動する事を利用者に通知する事が出来ます。
利用者が未保存のデータの保存を必要とする場合は、この間に行う事が出来ます。



Delayed Reboot （遅延再起動）を **Cancel （キャンセル）**した場合は、各クライアントに以下のメッセージが表示されます。

(2) 全てのコンピュータをプロテクト解除モードにする場合

Network Control （ネットワークコントロール） メニューから → **[Disable Protection on All Systems]（全てのコンピュータをプロテクト解除モードに）** を選択します。
パスワードを入力する画面が現れますので、ここで、各クライアントプログラムをインストールした際に設定したパスワードを入力し OK をクリックします。



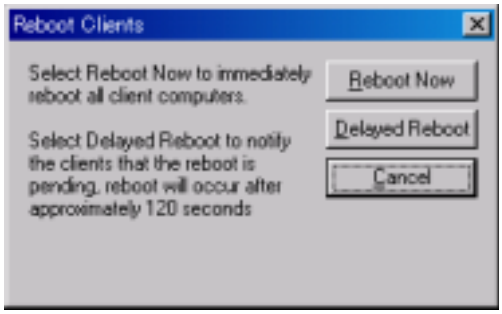
Next Boot Protect Status （次回起動時のプロテクトの状態） が、NotProt （プロテクト解除） の表示に変わり、クライアントリストの表示が**薄い赤色**に変化します。

注意

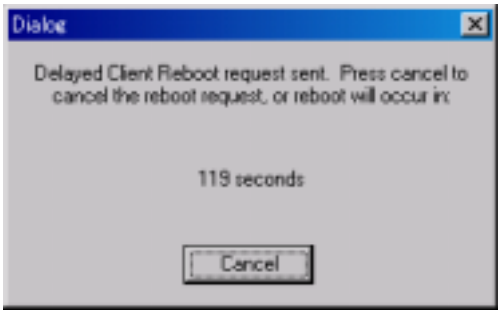
パスワードを間違えてもエラーメッセージは表示されませんが、その場合は Next Boot Protect Status （次回起動時のプロテクトの状態） の表示も、クライアントリストの表示も変化しましせん。 これらが変化しない場合は、パスワードが間違えているとご判断ください。
また、この操作を行う対象のクライアントは**全てパスワードを共通**にしてください。

その後、Reboot All Clients（全てのクライアントを再起動）を選択し、更に Reboot Now（直ぐに再起動） をクリックします。 もし、ここで、Delayed Reboot （遅延再起動） を選択した場合、120 秒後に再起動します。 その際、対象のクライアントコンピュータの画面上に、**「管理者が強制的に再起動を行います」**というメッセージが通知されます。ここで、Delayed Reboot （遅延再起動） を押した後、Cancel （キャンセル） ボタンをクリックすると再起動は中止され、対象のクライアントコンピュータには**「管理者は再起動を中止しました」**というメッセージが表示されます。

Reboot Now（直ぐに再起動）の画面



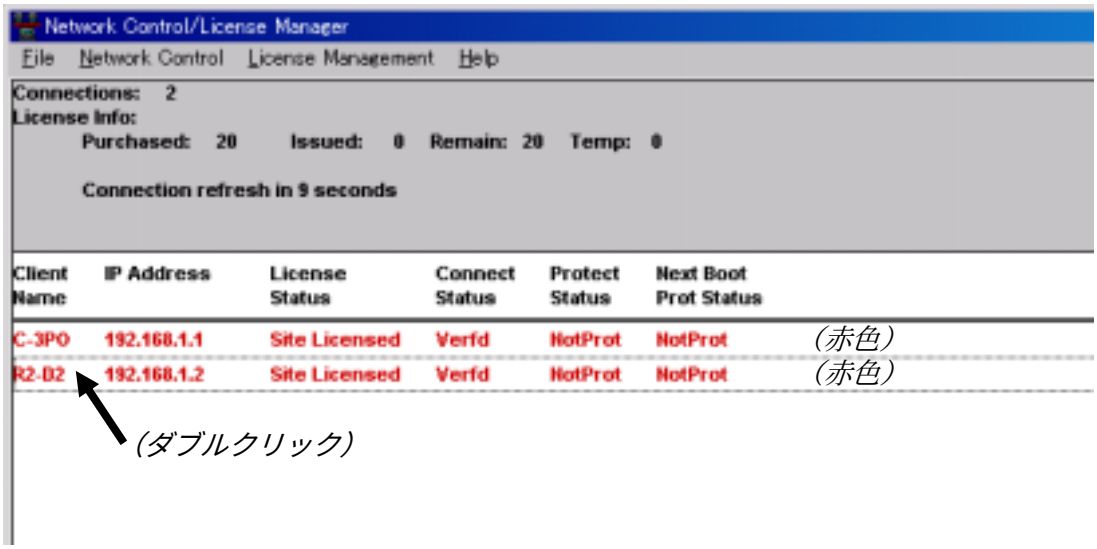
Delayed Reboot（遅延再起動）の画面



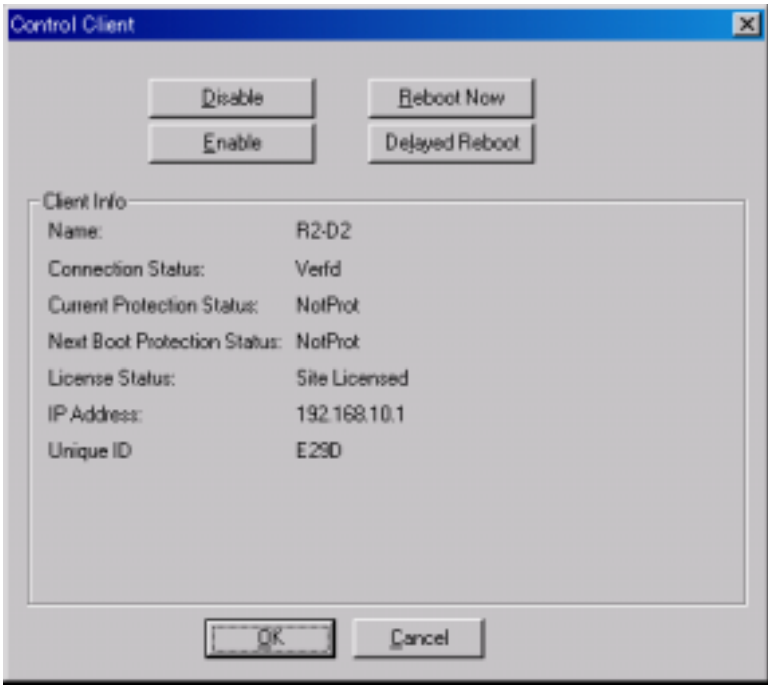
全ての クライアント PC が再起動され、再起動後、プロテクト解除モードで起動します。プロテクト解除モードで起動したクライアントコンピュータは、サーバープログラム画面上の Protect Status （プロテクトの状態） が NotProt （プロテクト解除） と表示されます。クライアントリストの表示が**赤色**に変化します。

（3）１台の PC をプロテクトモードにする場合

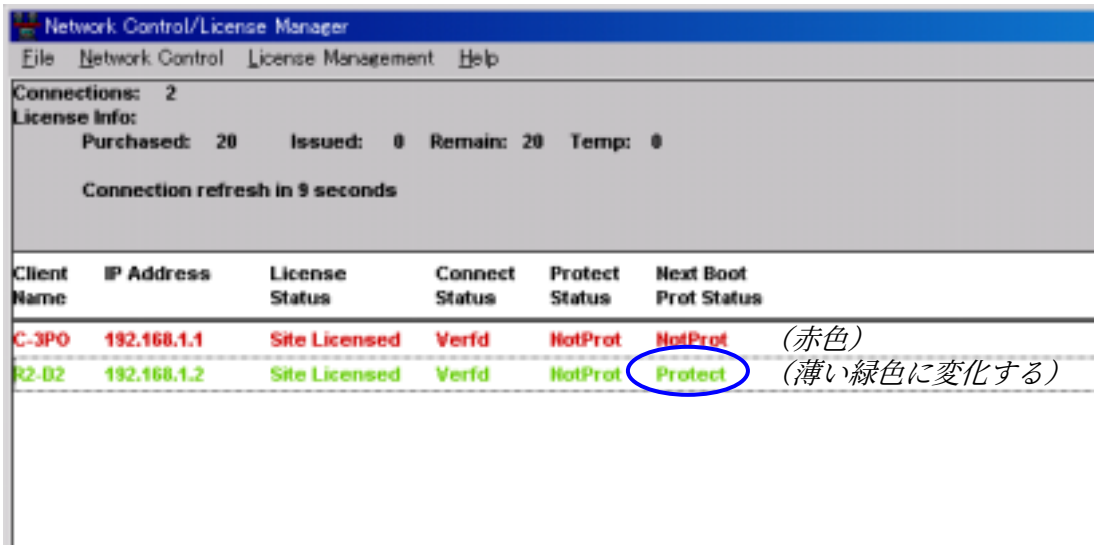
コントロール画面上の、クライアントリストに表示されたコンピュータをダブルクリックします。（次の図参照）



次の画面で、**Enable** ボタンをクリックします。

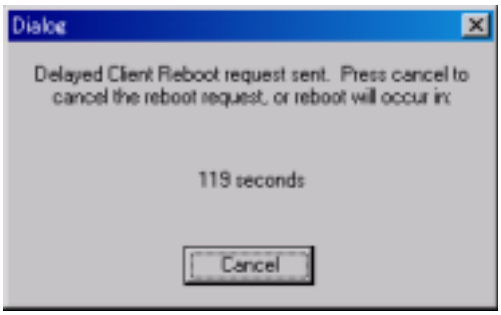


Next Boot Protect Status （次回起動時のプロテクトの状態） が、**Protect （プロテクト）** の表示に変わり、クライアントリストの表示が**薄い緑色**に変化します。



その後、**Reboot Now （直ぐに再起動）** をクリックします。 もし、ここで、**Delayed Reboot （遅延再起動）** を選択した場合、120 秒後に再起動します。 その際、対象のクライアントコンピュータの画面上に、**「管理者が強制的に再起動を行います」**というメッセージが通知されます。ここで、**Delayed Reboot （遅延再起動）** を押した後、**Cancel （キャンセル）** ボタンをクリックすると再起動は中止され、対象のクライアントコンピュータには**「管理者は再起動を中止しました」**というメッセージが表示されます。

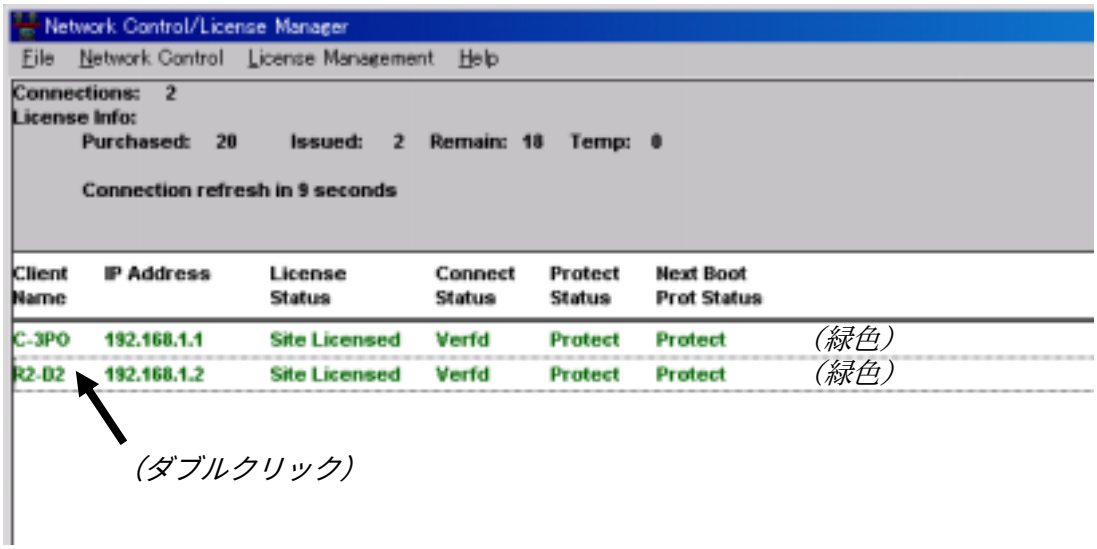
Delayed Reboot（遅延再起動）の画面



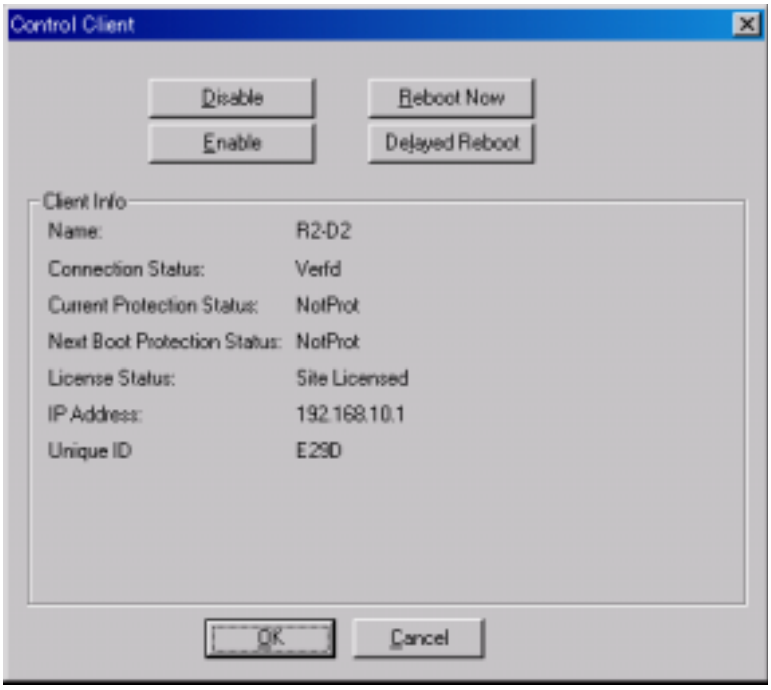
再起動後、プロテクトモードで起動します。 プロテクトモードで起動したクライアントコンピュータは、サーバープログラム画面上に、**Protect Status （プロテクトの状態）** が **Protect （プロテクト）** と表示され、クライアントリストの表示が**緑色**に変化します。

(4) 任意の１台の PC をプロテクト解除モードにする場合

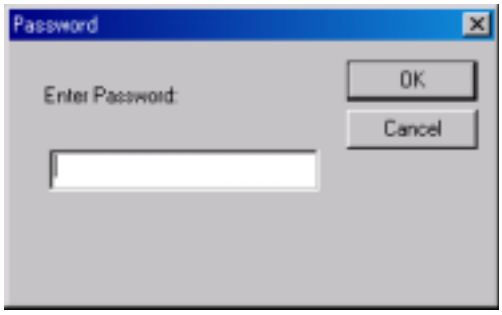
コントロール画面上の、クライアントリストに表示されたコンピュータをダブルクリックします。(次の画面参照)



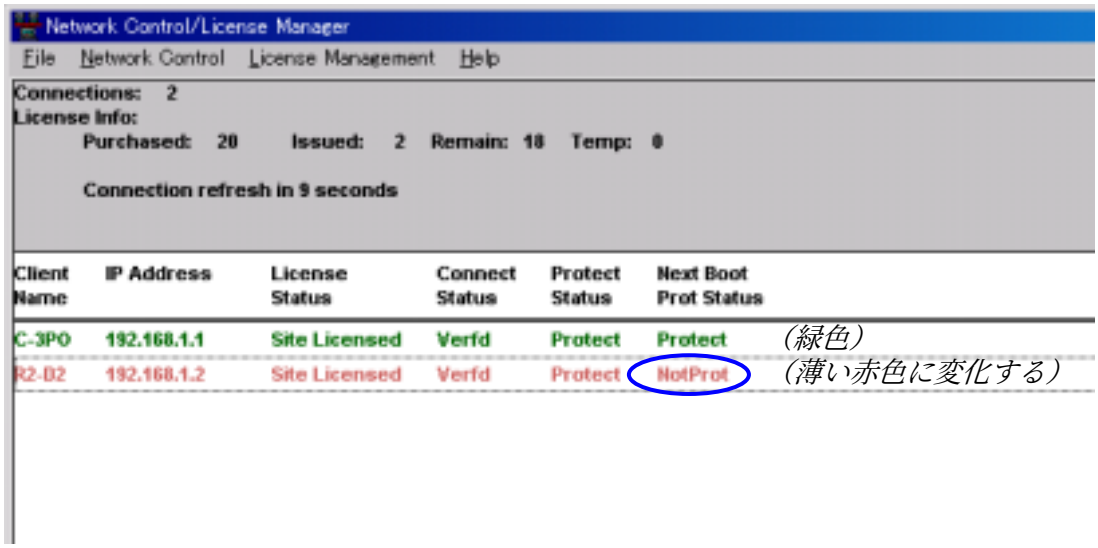
次の画面で、**Disable** ボタンをクリックします。



パスワードを入力する画面が現れますので、ここで、各クライアントをインストールした際に設定した、パスワードを入力し OK をクリックします。



Next Boot Protect Status （次回起動時のプロテクトの状態） が、**NotProt （プロテクト解除）** の表示に変わり、クライアントリストでの表示が**薄い赤色**に変化します。

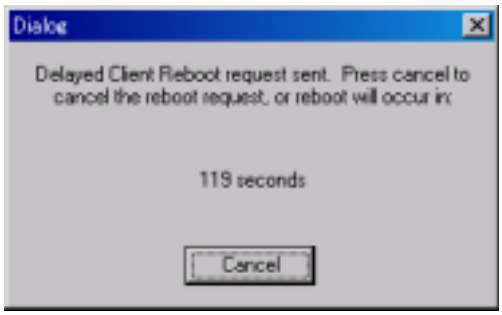


注意

パスワードを間違えてもエラーメッセージは表示されませんが、その場合は **Next Boot Protect Status （次回起動時のプロテクトの状態）** の表示も、クライアントリストの表示も変化しましせん。 これらが変化しない場合は、パスワードが間違えているとご判断ください。

その後、**Reboot Now （直ぐに再起動）** をクリックします。 もし、ここで、**Delayed Reboot （遅延再起動）** を選択した場合、120 秒後に再起動します。 その際、対象のクライアントコンピュータの画面上に、**「管理者が強制的に再起動を行います」**というメッセージが通知されます。ここで、**Delayed Reboot （遅延再起動）** を押した後、**Cancel （キャンセル）** ボタンをクリックすると再起動は中止され、対象のクライアントコンピュータには**「管理者は再起動を中止しました」**というメッセージが表示されます。

Delayed Reboot（遅延再起動）の画面



再起動後、プロテクトモードで起動します。 プロテクト解除モードで起動したクライアントコンピュータは、サーバープログラム画面上に、**Protect Status （プロテクトの状態）** が **NotProt（プロテクト解除）**と表示され、クライアントリストでの表示が**赤色**に変化します。

■ 第 5 章 認証手続きの方法（ライセンスマネージャー機能について）

ドライブシールドを正式に利用するには、認証手続きが必要です。
従来からのバージョンの場合、認証手続きは個々のコンピュータに対して行う必要がありましたが、［ネットワークコントロール／ライセンスマネージャー版］の場合、複数台分の認証手続きは、サーバーにて一括で行い、それを個々のクライアントコンピュータに配信する事が出来るので、大規模なインストールの場合非常に便利です。

5-1 認証を行う前の確認事項

(1) サーバープログラムをインストールしたコンピュータに、インターネットエクスプローラの 4.01 以上がインストールされている必要があります。
（NT4.0 の場合は、4.01 以下がインストールされている可能性がありますので、ご注意ください。

(2) サーバープログラムがインストールされたコンピュータがインターネットに接続されている必要があります。なお、その際、https（ポート 443 TCP）による通信を行いますので、ファイヤーウオールをご使用の際等はこのポートが開放されている必要があります。
ご不明な場合はネットワークの管理者にご相談ください。

(3) なお、上記(2)の条件を満たさない環境の場合、PHS や携帯電話等 + データ通信用 USB 接続ケーブルにてインターネット接続を行う方法も考えられます。

5-2 認証の手順（サーバーでのライセンス取得）

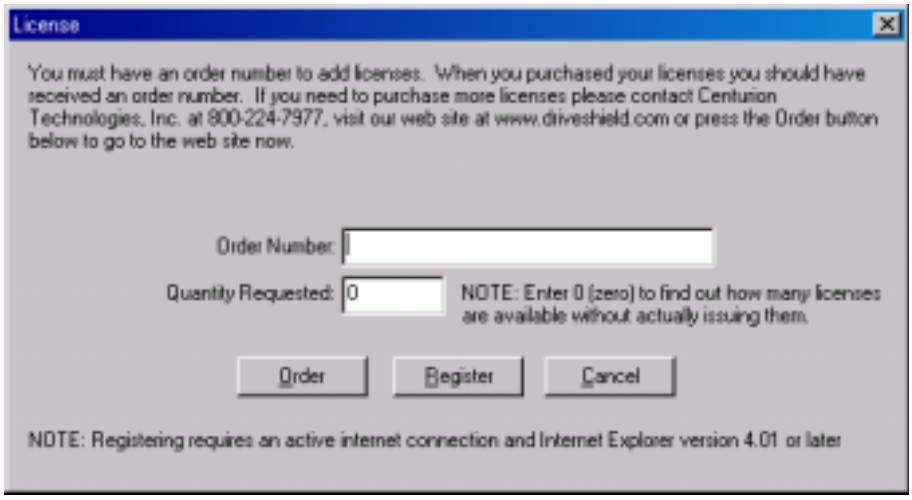
本ガイドでの例

ここでは、サーバープログラムにて 20 台分のライセンスを取得し、2 台のコンピュータにライセンス情報を配信する手順を例にご説明致します。 なお、ライセンス情報の配信は、一度に全ての台数分行う事も可能ですし、数回に分けて行う事も可能です。

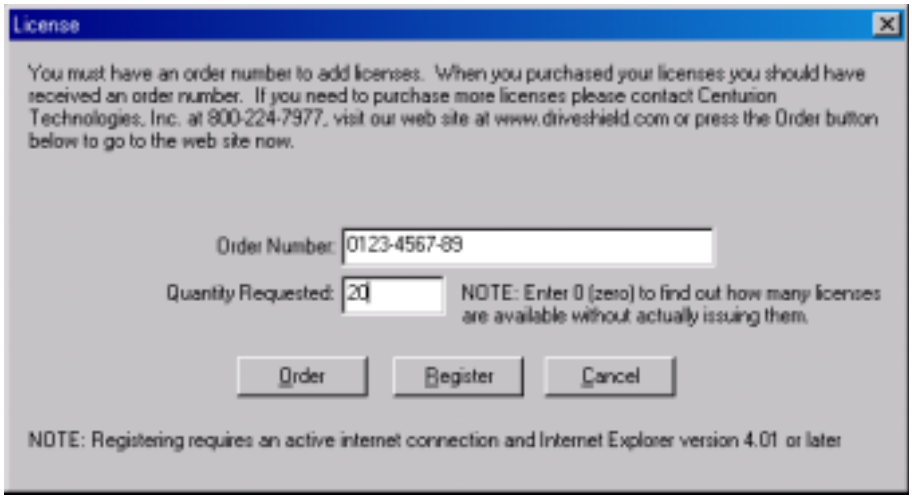
(1) 予めクライアントコンピュータを**非プロテクトモード**で、起動しておいてください。

(2) デスクトップ上の次のアイコンをダブルクリックするか、**スタート**ボタン → プログラム → Centurion Technologies → Site License and Network Control を選択します。

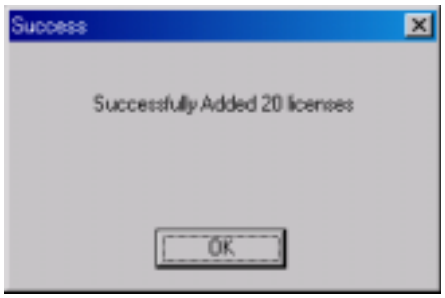
(3) サーバープログラム画面が起動しますので、**Site Licenses** メニューから、**Add Licenses** を選択します。そうすると、以下の画面が表示されます。



(4) 製品添付の [オーダーコード] を上段に入力します。また、下段にそのサーバープログラムで制御するクライアント数を入力します。 **（下の画面では、オーダーコードは 0123-4567-89 、クライアント数は 20 と入力しています。 オーダーコードは、アルファベットが書かれている場合もあります）** その後、 **[Register]** をクリックします。



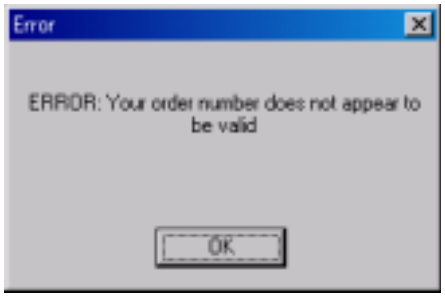
(5) 成功すると、下のような画面が表示されます。



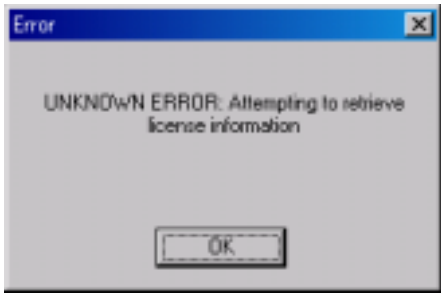
上記は 20 台分のライセンス情報に取得した状態です。

※ 失敗した場合は、次のようなエラーメッセージが表示されます。

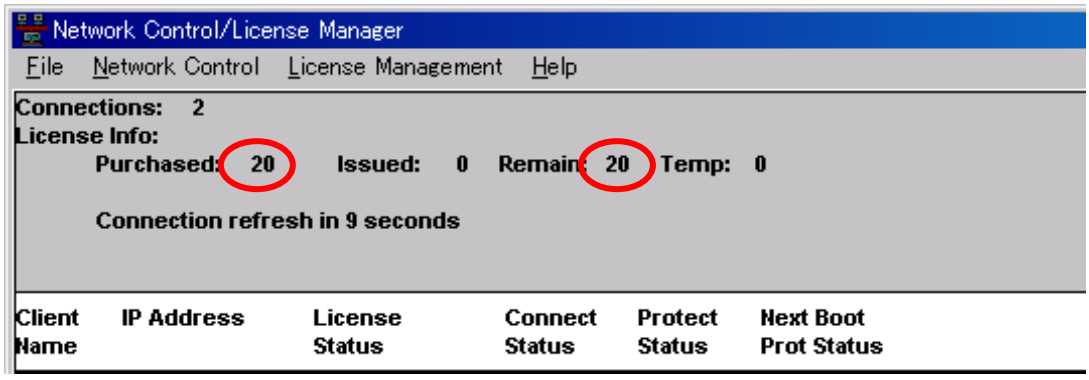
下のエラーメッセージは、オーダーコードを間違えて入力した場合等に表示されます。



下のエラーメッセージは、インターネットに接続されていない場合に、表示されます。

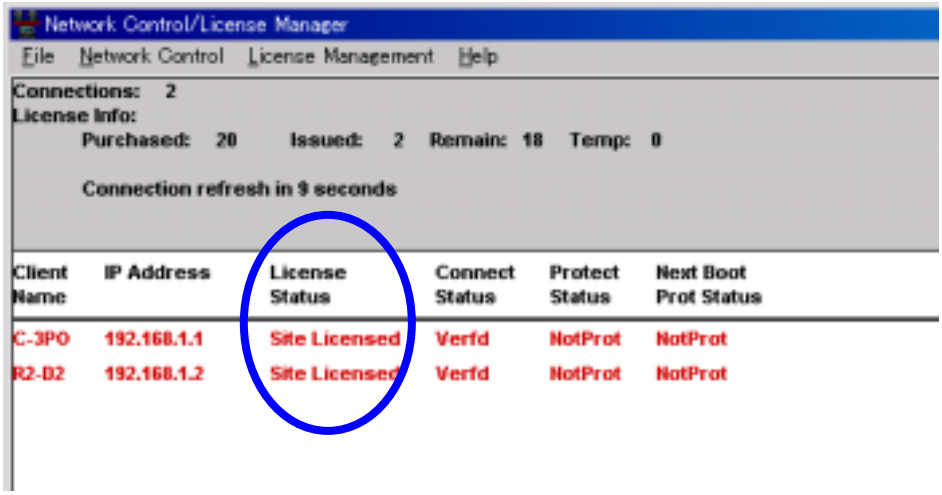


(6) 成功すると、下のように、サーバープログラム画面の **Purchased（購入ライセンス数）**と、**Remain（残り）に 20**（先程入力した数量）が、表示されます。



5-3 認証の手順（クライアントへのライセンス配信）

(1) 次に、［Licenses Management］ メニューから → ［Force All Clients to Request a License］ を選択します。 すると、下の画面のように License Status（ライセンスの状態状態）が Site licensed（認証済）に変わります。



また、Issued（配信済）が 2 となり、Remain（残り）が、18 となります。

(2) 次に、［Network Control］メニューから →［Reboot All Clients］（全てのクライアントを再起動） を選択し、更に Reboot Now（直ぐに再起動）をクリックします。（もし、ここで、Delayed Reboot（遅延再起動）を選択した場合、120 秒後に再起動します。なお、Delayed Reboot を押した後、Cancel ボタンをクリックすれば、再起動は中止されます）
全ての クライアント PC が再起動され、再起動後、クライアントコンピュータの認証が完了します。
以上で認証手続きの完了です。以降、各クライアントにインストールされたドライブシールドを正式にご利用いただく事が出来ます。

5-4 ライセンス情報のバックアップ

サーバープログラムは、通常、以下のフォルダにインストールされます。
C:\Program Files\Centurion Technologies
ライセンス情報は、上記のフォルダの中の Licensed.dat というファイルに格納されていますので、サーバープログラムのアンインストールや、サーバープログラムがインストールされたコンピュータのリカバリーや、入れ替えを行う際などは、予め上記の Licensed.dat のバックアップを取ってください。新たにサーバープログラムをインストールした後、バックアップした Licensed.dat を上記のフォルダに戻せば、今までのライセンス情報を継続して利用する事が出来ます。

■ 第 6 章 アンインストール方法

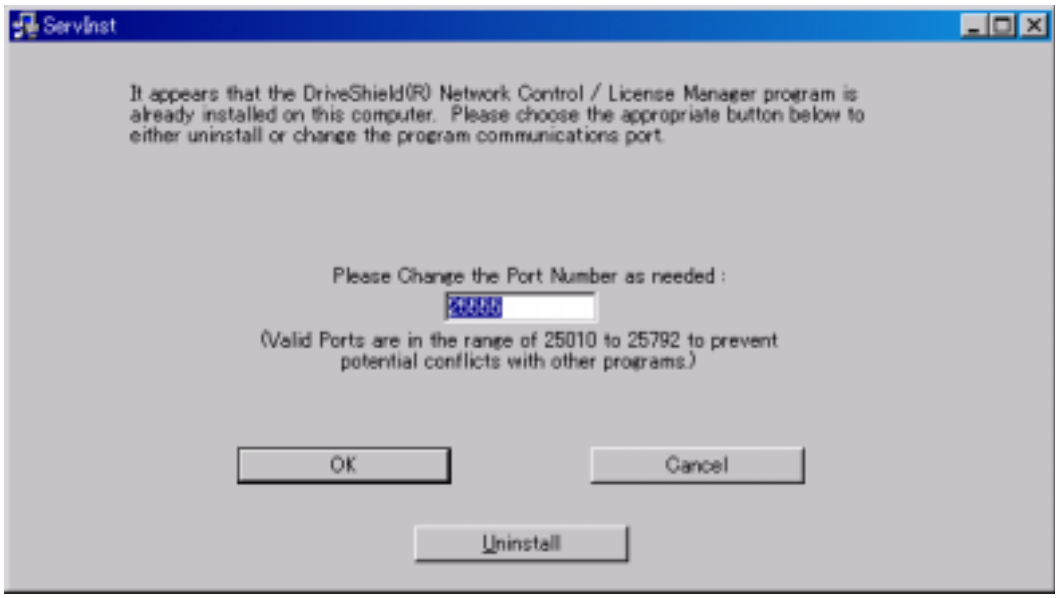
※ バックアップが必要な場合は、あらかじめ、前のページの **5-4 ライセンス情報のバックアップ**の内容に添ってバックアップをおとりください。

(1) NT4.0、2000、XP コンピュータにインストールする場合は、Administrator 権限でログオンしてください。また、作業中の未保存のデータがあれば予め保存しておいてください。(このサーバープログラムは、Windows98、Me、NT4.0、2000、XP でのみ使用出来ます。 **Windows95 では使用出来ません**)

(2) CD-ROM の中の、**[NCLMinst.exe]**(コンピュータの表示設定によっては、**NCLMinst.**と表示される場合もあります)をダブルクリックします。

(3) ドライブシールドのタイトルロゴが現れます。

(4) 次に下の画面が表示されますので、**[Uninstall]** をクリックしてください。



以上でアンインストールの完了です。

■ 第 7 章 ユーザーサポートについて

何かご不明な点、インストール時のトラブル等は下記宛ご連絡いただけますよう宜しくお願い致します。 お問い合わせの際には、円滑なサポートの為にもあらかじめ使用環境、症状等を出来るだけ詳しくメールか FAX でお送りいただけますようお願い致します。

ドライブシールド ユーザーサポート窓口
（本社 営業部）
平日 9 時～17 時
TEL : 046-278-0764 （フリーダイヤル: 0077-2392-5179）
FAX : 046-278-0906
e-mail : hdg_support@idk.co.jp

※ 記載されている社名、商品名は各社の商標または登録商標です。